

編集・発行：公益社団法人教育文化協会
〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台3-2-11 連合会館内
tel 03-5295-5421 fax 03-5295-5422

URL <https://www.rengo-ilec.or.jp>

発行責任者：専務理事 木村裕士

新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。

旧年中、皆様方には（公社）教育文化協会に対するご支援・ご協力を賜り、心より感謝を申し上げます。また、本年が皆様方にとってさらに良い年となりますよう祈念いたします。

一昨年に続き、昨年8月には九州での集中豪雨、9月から10月にかけては大型台風が各地に大きな被害をもたらしました。事前に大きな影響があるとはわかっていても、自然の猛威は予想を上回るものがあり、度重なる自然災害に日本全体が疲弊していたようにも思えます。そのような中、明るいニュースもありました。新天皇の即位によって時代は平成から令和に代わり、即位に伴う歴史的な行事が厳かに、また華やかに行われました。世界からの祝福は、国民の心をも明るく照らし、温めてくれたのではないのでしょうか。

さて、「働き方改革関連法」の1つである「パートタイム・有期雇用労働法」が本年4月より施行されます。世間では「同一労働同一賃金」の法整備として取り上げられているものです。この法律が、雇用形態などの違いにかかわらず誰もが安心して働くことができる職場環境の実現につながることを、私たちは注視していく必要があります。

加えて、連合が掲げる「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けては、働くことやワークルールについて社会全体で理解・共有できる「労働文化」づくりが不可欠です。当協会は本年も、若者に対する労働教育を目的として25大学で開講している「連合寄付講座」の充実をはかります。連合寄付講座につきましては、当協会が運営する6大学（同志社大学・一橋大学・埼玉大学・法政大学・中央大学・東京工業大学）に加えて、19の地方連合会が、それぞれの地域の特色を活かした地方連合会寄付講座を開講しています。昨年は当協会主催の1大学、地方連合会主催の3大学で新規開設することができました。今後もその裾野をさらに広げられるよう、新規開設に関する要請・要望にしっかりと応えていきます。

2001年に開講した「R e n g o アカデミー・マスターコース」につきましては、現在開講中の第19回までに448名が受講しています。プログラムのさらなる充実をはかり、連合運動の次代を担うリーダーの育成に努めていきます。あわせて、「幸せさがし文化展」や「私の提言」などの文化事業につきましても、より多くの方から応募いただけるよう、連合やその構成組織、関係団体などと連携をはかり、積極的に展開していきます。

さらに、公益社団法人として、公益目的事業を展開していることから、会員のみならずより多くの皆様にご参加いただけるよう、発信力を高めていきたいと考えています。

当協会は2020年7月1日に（公財）日本労働文化財団と統合します。すべての働く人を対象とした労働教育のさらなる充実に重点を置きながら、引き続き、社会の共感を呼び、共に学び合える事業を推進してまいります。皆様方の一層のご支援・ご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



理事長 南雲 弘行

Rengoアカデミー第19回マスターコースが開講

～約1年におよぶプログラムがスタート！～

Rengoアカデミー第19回マスターコース(校長: 神津里季生連合会長)が2019年11月17日(日)に開講し、MELONDIAあざみ野で開講式を行いました。

主催者を代表して南雲弘行理事長が挨拶し、「組合リーダーとして必要な知識を身につけるとともに、異なる組織から派遣されている者同士で、立場の違いを超えて積極的に議論し、交流を深めて欲しい」と受講生に伝えました。

つづいて、神津里季生Rengoアカデミー校長、中村圭介教務委員長(法政大学大学院連帯社会インスティテュート教授)から、受講生に対する激励のメッセージが送られました。

最後に、電力総連の菊池英治さんから、受講生15名を代表して決意表明が行われました。

開講式の後、5泊6日の前期合宿がスタートしました。受講生は、幅広い領域・分野の講義(下表①)を受けるとともに、グループワークを通じて活発な意見交換を行い、講義後は5つのゼミナール(下表②)に分かれ、夜遅くまで熱心に議論を交わしました。受講生は今後、数回行われる必修ゼミで自身の課題認識を掘り下げ、後期合宿(2020年5月17日～22日)で修了論文の構想を発表する予定です。

7月の修了論文提出・9月の修了式まで約1年にわたるプログラムとなりますが、派遣いただいている各組織におかれましては、受講生への温かいご協力・ご支援をお願いいたします。



11/17(日)



▲連合会長からの課題提起
講師: 神津校長
CN: 高木副校長

11/18(月)



▲労働運動の歴史を解説
講師: 高木副校長

11/19(火)



▲連合運動の将来について議論
講師: 下田連合総局長
CN: 中村教務委員長

11/22(金)



▲組合リーダーの経験談を共有
講師: 南雲教育文化協合理事長
CN: 高木副校長

※CN=コーディネーター

①Rengoアカデミー第19回マスターコース・前期合宿の内容

講義日	科目	講師氏名
11/17 (日)	論文のまとめ方	高木 郁朗 Rengoアカデミー副校長
	連合の役割・行動I - 連合運動における自らの役割	神津里季生 連合会長 中村 圭介 Rengoアカデミー教務委員長
11/18 (月)	アサーティブ・トレーニング	森田 汐生 アサーティブ・ジャパン代表
	歴史からみた労働組合の役割	高木 郁朗 Rengoアカデミー副校長
11/19 (火)	「安心社会」への戦略を考える	宮本 太郎 中央大学教授
	連合組織強化の課題	下田 祐二 連合総合組織局長 中村 圭介 Rengoアカデミー教務委員長
11/20 (水)	日本の財政と社会政策の課題	佐藤 滋 東北学院大学准教授
	労働法の基礎	浜村 彰 法政大学教授
11/21 (木)	ジェンダーと労働	神尾真知子 日本大学教授
	仕事と賃金	石田 光男 同志社大学教授
11/22 (金)	人材活用と人事管理の課題	橋元 秀一 國學院大學教授
	組合リーダーに聞く	南雲 弘行 教育文化協合理事長 高木 郁朗 Rengoアカデミー副校長

②ゼミナールの内容

担当教員・テーマ
禹ゼミ 禹 宗杭 埼玉大学教授 「グローバル化と日本の労働組合」
木本ゼミ 木本 喜美子 一橋大学名誉教授 「少子高齢社会のなかの人間と労働組合」
毛塚ゼミ 毛塚 勝利 労働法学者 「労働法と労働組合」
高木ゼミ 高木 郁朗 Rengoアカデミー副校長 「経済・産業と労働組合」
橋元ゼミ 橋元 秀一 國學院大學教授 「企業・職場と労働組合」

第14回「労働法講座」(基礎コース)を開催



2019年10月28日(月)～29日(火)、連合会館において第14回「労働法講座」(基礎コース)を開催し、連合構成組織・地方連合会・関係団体などから46名が参加しました。

初日は野川忍明治大学法科大学院教授から、労働法の必要性や役割、全体像に加え、労働契約法、労働安全衛生法などについて講義いただきました。

2日目は森戸英幸慶應義塾大学法科大学院教授から、労働組合法や男女雇用機会均等法、非正規労働者の法政策などをお話いただき、最後に石田昭浩連合副事務局長が、連合の雇用・労働法制に取り組む基本的な考え方を紹介しました。来年秋にも労働法講座(基礎コース)を開講する予定です。皆さんの参加をお待ちしています。

受講者アンケートより

- ◇改めて労働法を学ぶ機会となった。これをきっかけに雇用労働に関して勉強したい。
- ◇これまで勉強してきたことが再確認できた。引き続き労働法を学ぶモチベーションが高まった。
- ◇労働組合の存在意義、成り立ちや使命など、今まで誰も教えてくれなかったことが初めて明確になった。
- ◇労働法の本当の基礎の部分についての話が聞けてよかった。
- ◇組合に関わっていない人でも理解できる内容だった。



▲野川 忍 教授



▲森戸 英幸 教授



▲石田 昭浩 副事務局長



「ワークルール検定2019・秋(初級)」を実施

働くときに必要な法律や決まりを身につけてもらうための「ワークルール検定」が、(一社)日本ワークルール検定協会主催(厚生労働省・日本生産性本部が後援)で実施されています。

教育文化協会は、連合や中央労福協などとともに、本検定の運営に参画しながら、その展開・拡大に取り組んでいます。

2019年は11月23日に初級検定を全国23カ所で実施し、968名が受検、内637名が合格しました。

次回は2020年6月14日(日)に初級と中級を実施する予定です。詳しくは下記ホームページ、SNSなどをご覧ください(2019年3月上旬掲載予定)。



ホームページ



Twitter



Facebook

第11回 連合・ILEC 幸せさがし文化展

～働く仲間とその家族の公募展～

～入賞作品の展覧会を開催～

「連合・ILEC 幸せさがし文化展」は、働く仲間とその家族の文化活動の支援を目的に、絵画・写真・書道・俳句・川柳の5部門の公募展として開催しています。

第11回となる今回は、総数で4,534点を応募いただき、10月11日の連合第16回定期大会で表彰式と同会場内で展覧会を行いました。10月22日から27日には、2回目の展覧会を東京芸術劇場アトリエイーストで開催し、延べ約300名の方にご来場いただきました。

展覧会には受賞者のご家族にもお越しいただき、受賞作品と一緒に写真を撮る等、多くの方にお楽しみいただくことができました。

第12回は2021年に実施の予定です。次回も皆様からのたくさんの応募をお待ちしております。(全入賞作品は、ILECホームページでご覧いただけます。)



日程 2019年10月10日(木)～11日(金)
(第16回連合定期大会)

場所 新宿文化センター B1展示室

日程 2019年10月22日(火)～27日(日)

場所 東京芸術劇場 B1アトリエ・イースト



▲東京芸術劇場での展覧会の様子

理事の交代等 (2019年11月13日付)

(敬称略)

＜理事＞ (旧)

船山 整 自治労前総合企画総務局長
岸本 薫 電力総連前会長
松谷 和重 フード連合前会長
山口 浩一 交通労連前委員長

(新)

榎本 朋子 自治労総合企画総務局長
坂田 幸治 電力総連会長
伊藤 敏行 フード連合会長
園田 龍一 交通労連委員長

＜監事＞ (旧)

大北 隆典 生保労連前委員長
下田 祐二 連合総合組織局長

(新)

松岡 衛 生保労連委員長
小熊 栄 連合総合総務財政局長

(公財) 日本労働文化財団との統合について

教育文化協会は、人材育成機能を一層強化するべく、2020年7月1日に現在、法政大学において「連合大学院(連帯社会インスティテュート)」を運営している(公財)日本労働文化財団と統合する予定です。統合後には、記念イベントも開催する予定であり、イベントの詳細については事前にILEC通信でもご案内いたします。

編集後記

アメリカで大流行したという某電気圧力鍋を導入しました。スイッチを押せばあとは待つだけ。お正月のお煮しめにも大活躍で、その間に他のことができる！と喜びましたが、お米を鍋で炊いている我が家では、結局キッチンから離れられないという事実が気が付きました。(ぴー子)